

2022年度 SFC 政策研究支援機構 研究助成 応募要領

SFC 政策研究支援機構は、還暦を超えてなお社会の第一線で活躍されている慶應義塾大学 OB を中心に、2000年に設立された個人寄付による支援機構です。「亜未来」に起こるであろう日本国内の地域問題に焦点を当てたフィールド重視の政策研究に対し、助成を行います。機構では、研究会に所属している学生だけでなく、学生たちによる自主的な研究グループによる応募も受け付けています。

1. 対象者

申請時および助成期間中、総合政策学部・環境情報学部 に在学している学生を代表者とするグループ
(研究活動をよく知る専任教員による推薦が必要)

※ グループによる応募を原則とします

※ 代表者を除くメンバーは、総合政策学部・環境情報学部以外の所属でもかまいません。ただし慶應義塾大学の在学学生であること。

※ 原則として、対象期間中に休学はできません。特に代表者がやむを得ず休学する場合は、グループ内で代表者を交代し、早めに事務室へ申し出てください。

2. 助成対象期間

2022年4月1日(水)～2023年2月17日(金) ★報告書提出締切日

3. 支援額

1件あたりの助成額は10万円～50万円

採択予定数は4件程度です。応募は1プロジェクトにつき1件のみです。なお、上限額を超える申請は無効とします。

4. 研究テーマ

フィールドワークを重視した国内の地域における政策研究を対象とします。

地域活性化、観光・集客交流、地域医療・福祉、コンパクトシティ、芸術・文化創造、地域情報化、都市農村交流、国際化、ランドスケープ(景観)等

これ以外のテーマを選んだ場合でも、助成対象となることがあります。

5. 応募方法

「SFC 政策研究支援機構研究助成応募書類」を SFC 学生向け研究助成システムより提出してください。締切後の提出・差し替え等は一切認められませんので、ご注意ください。また、事前に必ず指導教員に相談をし、内容について許可を得たうえで提出するようにしてください。

応募期間：2022年5月23日(月) 10:00～2022年6月10日(金) 13:00 厳守

6. 選考の流れ

・一次選考（書類審査）

一次選考では、採択の可否を審査します。

学生向け研究助成システムより提出された書類をもとに、学生研究助成委員会が書類選考を行います。書類選考結果は、SFC 学生向け研究助成システム上で、応募者宛に7月上旬までに通知します。

・二次選考（プレゼンテーションおよび質疑応答）

二次選考では、採択者に対する助成額を決定します。

日程：7月中旬（詳細未定）

概要：各グループ10分のプレゼンテーション、5分の質疑応答

審査員：機構メンバー、SFC 教員

※詳細は第一次選考通過者に個別にお知らせいたします

※二次選考会は公開で行います。特に指導教員の参加をお待ちしております。

7. 研究成果報告および経費支出について

本研究助成を利用する学生は、プロジェクト成果物および経理報告書の提出とともに、別途以下に記載されている中間報告会および最終報告会での発表が義務づけられます。

プロジェクト成果物・経理報告書類の提出期限は次のとおりです。義務づけられている成果報告及び書類提出がなされない場合、助成金返金や以降の採択制限等のペナルティを課せられることがあります。

◆成果物提出締切：2023年2月17日（金）16:50 厳守

◆経理報告書類提出締切：2023年2月17日（金）16:50 厳守

※経理報告書および領収書の原本（コピー不可）を事務室へ直接提出

◆中間報告会：10月～11月（予定）

中間報告会は SFC 政策研究支援機構による寄附講座「地域協働とフィールドワーク」の中で行います。報告会には、機構のメンバー、SFC 教員が参加。質疑応答の時間には鋭い指摘や質問が飛び交います。機構メンバーからは豊富な人生経験からのアドバイスがもらえます。また、ゼミや授業の担当以外の教員から指導を受けられる貴重な機会になっています。

◆最終報告会：2月～3月（予定）

8. 応募書類記入要領

応募書類は3種類とも入力し、最後に必ず「提出する」ボタンをクリックしてください。

<応募書類①：計画書>

(1)研究課題名

25 文字以内で簡潔に記入してください。

(2)研究概要

一般的、抽象的な表現は避けて、研究の内容を具体的かつ簡潔に記入してください。

(3) SFC 政策研究支援機構 研究助成への応募理由

本要領冒頭の趣旨や、研究テーマに照らして、自身の研究にどのような意義があるのかを踏まえ、わかりやすく記載してください。

(4)研究組織

本制度は、グループでの応募が原則となります。研究代表者、研究分担者、研究分担課題を明確にし、それぞれの分担課題が分かるようにしてください。

(5)研究経費の明細

研究計画に基づいて、本年度分の経費について使用内訳別にそれぞれ記入してください。

出費の可否については、下記を参照するとともに、別途塾生サイトで案内している「助成金使用マニュアル」も確認して入力してください。

旅費・近郊交通費については、SFC の教育・研究活動を維持するための基本方針等に基づき、支出が認められないケースがあります。旅費・近郊交通費の支出がキャンセルとなった場合の研究代替手段について、必ず「研究計画」内に記載してください。

<認められる経費>

(a) 国内旅費

国内旅費は、調査・研究、研究打ち合わせなどの国内出張をする場合に要する経費とし、その算出は義塾の規程に準拠します。

(b) 消耗品

原則不可ですが、事前に申請して認められたもののみ購入可能とします。応募時点で出費がわかっているものは可能な限り詳細に記入してください。採択後、新たに購入が必要になった場合は、必ず事務室に事前に連絡してください。

(c) その他については、交通費（近郊の交通費）、郵便・宅急便費、印刷費、訪問先への手土産代等とします。レンタカー代、ガソリン代も支出可能ですが、発着地および公共交通機関ではなく車を使った理由を必ず付記してください。

<認められない経費>

- ・公私の区別の付きにくい、携帯電話等の購入・使用料
- ・学費、授業料等
- ・1点または1組の価格が20万円（税込）以上の物品
- ・その他、本制度の主活動であるフィールドワークとの関連が認められない経費

(6)採択済・申請予定の助成金

今年度、すでに採択済の助成金や新たに申請予定の助成金がある場合は、申請するプロジェクトの内

容やメンバーが同一かどうかに関わらず、すべての助成金名・申請題目・採択時期・採択期間を申告してください。申告内容に虚偽があった場合、採択を取り消すことがあります。

<応募書類②：研究計画>

2ページ以内で作成のうえ、PDF形式でアップロードしてください（書式自由）。特に、研究の背景、研究目的、研究手法、予想される研究成果等、現時点で立てているフィールドワークの計画を具体的かつ明確に記入してください。

<応募書類③：推薦書>

研究活動をよく知る専任教員に推薦文をご記入いただき、PDF形式でアップロードしてください（所定用紙）。

【参考：過去の研究助成対象グループ】

(2019 年度)

- ・ 日本の都市環境における微生物コミュニティ分布・機能の調査
- ・ 域学連携による、小規模中学校に対する継続的な学びのサポートの実施
～長野県開田高原での中学生を対象にした実践活動を事例に～
- ・ 夜行性猛禽類の存在が「やんばる」の生物多様性を指標するのか：頂点捕食者から見た保護区設定の妥当性
- ・ 三条市における地元高校生と三条市に住んでない大学生が継続的に地域課題へ取り組む意識を創出するアプローチ方法の提案
- ・ 地域住民と地域関係者をつなぐ、多様な協働事業の創出
～鹿児島県熊毛郡屋久島町口永良部島を事例に～

(2018 年度)

- ・ 地域の居場所を地域活動の拠点にする方法論～ゆがわらっことつくる多世代の居場所を事例に～
- ・ 小田原市石橋地区における獣害対策の実施
- ・ 日本における在日訪日ムスリムとの共生への模索～「おもてなし」の枠組みを超えた Halal Guide Tokyo, Musli-Map Tokyo, Welcome Muslim Friends プロジェクトの推進～
- ・ Photovoice 法の防災教育への応用—被写体から撮影者へ—
- ・ 横断型コミュニティ・スクールのモデル構築の段階的实践
～長野県木曾郡木曾町開田高原での中学生へのワークショップをきっかけとした取り組みを事例に～
- ・ 環境 DNA・RNA 解析による環境状態の科学的評価の実現

【問い合わせ先】

湘南藤沢事務室学事担当 CDP オフィス (A 館 1 階)

Tel:0466-49-3409

email:cdp@sfc.keio.ac.jp